

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	中川町			代表者名	町長 石垣寿聡
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	地域振興課広報情報係	連絡先電話番号	01656-7-2819
担当者役職	主事	担当者氏名	田中 幸希	連絡先E-mail	
住所	098-2892 北海道中川町337番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	中川町情報化推進計画策定事業		
概要	現在当町には地域情報化計画やDX化推進計画などを策定しておらず、町全体としての情報化の進め方がいまだ定まっていない状態。その状態を解消し官民一体的に情報化DX化に取り組めるように計画策定に対して助言や策定のノウハウをいただきたい。				
支援を求める分野	計画策定支援 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体システム標準化・共通化				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	167	令和6年8月28日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月29日	支援・助言(実地)	9時30分	17時45分	60
			活動時間(分)	435	
2-2. 派遣場所	会場名	中川町役場		最寄駅	天塩中川駅
	所在地	北海道中川郡中川町字中川337番地		最寄駅からの交通手段	徒歩5分程度、必要に応じて送迎可能

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当町の実情と職員からの要望を、それぞれを叶う形で実地での講話等を設定していただいたことや、現状や要望についての確にアドバイスをいただいたため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	19人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	19			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	OAも含めて当町では担当職員がつきはぎのようにシステムを更新していたため、当町の全体現状について担当職員でも把握できていない点 執務環境も近隣自治体と比べかなり遅れており、職員の業務効率が良くない点。 DXに関する計画を策定していない点 役場全体としてDXについての理解や意識醸成が進んでいない点
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	役場職員全員が、ある程度DXに対して理解や意識醸成が進み、職員間でDXについて意見交換ができる状態になること。DXに関する計画を策定し、それに沿いながらDXを推進できる体制になっていること。 執務環境が改善され、業務効率が向上していること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前には町長を含めた管理職を対象に、DXについて基礎的な情報や管理職としてDXに対する取り組み方のアドバイスをを行った。 午後は情報化推進リーダー(各課の課長補佐など)を対象に、DXについて基礎的な知識や他自治体の情報提供、その後関氏をファシリテーターとして当町のあるべき姿を考えるワークショップを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	管理職には、DXへの機運醸成が図られ、情報化推進リーダーには、DXの理解が進んだことや、ワークショップの開催手法を身につけることができた。 ワークショップをとうして情報化推進リーダーたちの潜在的な考えを理解することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物はないが、今度当町で行う計画策定へのアドバイスや、各職員の機運醸成がなされたと考える。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	管理職や情報化推進リーダーそれぞれでも理解の度合いが均一ではないと感じたので、定期的な勉強が必要だと改めて感じた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 各課で情報化推進リーダーを主として今後ワークショップを実施してもらうことを予定している。そこで今回の後援やセミナーが活かされたか確認する予定の為、アンケートを実施しなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 情報化推進リーダーを中心に各課の課題などを抽出し、今年度内に情報化推進計画の策定を目指す。次年度以降は職員の執務環境の改善などを旨し予算化を図りたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	どんな自治体でも人口減少は生じ、それに伴い、役場職員も減少することが目に見えている。それに適応するためにも、デジタルの活用は有用であることは明確であり、積極的にデジタルを活用し職員の業務効率の改善や改革を行ってける組織や体制の構築	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

